



第6回東南アジア農業事情視察団

研修期間：2020年1月26日(日)～2月2日(日)8日間

訪問国・都市

フィリピン(マニラ)・タイ(バンコク)



写真は全てイメージです。

主催：全国農業会議所 / 全国農業新聞
旅行企画・実施：ベストワールド株式会社
観光庁長官登録旅行業第 145 号・日本旅行業協会正会員
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-7-4
電話 03-3295-4111 FAX 03-3295-4118

第6回東南アジア農業事情視察団への参加のご案内

全国農業会議所・全国農業新聞では第6回東南アジア農業事情視察団をフィリピンとタイに派遣いたします。フィリピンは都市部を中心に工業化が進んできている一方、人口の増加等による貧困が深刻な問題となっています。国民の約4割が農業に従事しており、1年を通じて温暖な気候を活かし、サトウキビ、ココナッツ、バナナ、タバコなどを栽培・輸出しています。一方、こうした輸出用作物の需要拡大や工業化に伴う農地の減少により、主食のコメは自給できていません。

タイは経済振興国として東南アジアで特別な存在であるのと同時に、国民の約4割が農業に従事する農業国でもあります。近年、ICTの利用により効率的な生産体系を確立する農家が出てくるなど、日本と同様に「未来型」の農業の第1歩を踏み出しています。

本視察は、フィリピン、タイという農業を取り巻く状況が異なる2か国を訪ね、農場等の視察を通じて、東南アジアの農業事情を肌で感じられるよう企画したものです。

全国農業新聞の読者や農業委員会関係者をはじめとする皆様方におかれましては、ご多用中のところと存じますが、是非、ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

フィリピンの農業事情と課題

フィリピンは、熱帯の海域に北から南にむかって扇状に広がる7,107もの島々で構成されています。スペインの植民地時代が長かったため、キリスト教系の信者が人口の約93パーセントを占めていますが、先住民の伝統的な精霊信仰と融合した内容となっています。

農業については、小規模農家が中心となってコメ、トウモロコシ等の国内向けの作物が栽培され、植民地時代に開設された大農園により、さとうきび、ココナッツ、バナナ等の輸出用換金作物が栽培されています。

フィリピンは貧困が深刻な問題となっており、その要因のひとつとして、主食であるコメの自給率が低く、輸入していることがあげられます。輸入により穀物価格が高騰し、貧困層に主食が行き渡らない状態が続いていることから、フィリピン政府は、自給率を向上させるべく、近代的な栽培技術の普及や農産物流通の改善をはじめとした対策に取り組んでいます。

タイの農業事情とスマート農業

タイは、東南アジア有数の観光国です。中央平野は東南アジア随一の穀倉地帯として知られています。優雅な舞踊やタイ料理、タイシルクなど、タイの伝統を今に伝えるもののほか、スコータイやアユタヤなど世界遺産に登録されている貴重な史跡が多くあります。

農業については、熱帯の気候を活かしてコメの二期作・三期作が行われており、世界有数のコメ輸出国となっています。また、従来から栽培が盛んな、さとうきび、オイルパーム、パイナップルに加え、政府が主導して天然ゴム、トウモロコシ、キャッサバなど多様な作物が栽培されるようになっていきます。

最近では、情報技術推進省が主導してスマート農業が推進されています。同省の「農家向けサイバーブレインプロジェクト」では、農作物の栽培方法や市場価格などの情報を提供しています。とりわけ、栽培方法については伝統的な農法の「カン」による部分を文章化・数値化することで、新しい農業者を支援する有力なツールとなっています。



観光のポイント

【フィリピン】

昔は城壁に囲まれていたというマニラの旧市街イントラムロスには、マニラ大聖堂をはじめとした観光名所がそろっています。16世紀末にスペインによって植民地化されただけに、建物や通りの雰囲気はどこか西欧の雰囲気が漂っています。

【タイ】

バンコクは物価が安く治安も悪くないことから世界中の旅行者が訪れます。毎年2000万人もの外国人観光客が訪れており、「世界航行先ランキング」では2016年より3年連続で世界一となっています。世界遺産のアユタヤ遺跡は14～18世紀に王都として繁栄した古都。当時の戦いで破壊された寺院遺跡や仏像からは、当時の栄華ある歴史を感じられます。



第6回東南アジア農業事情視察団 日程表

月日	発着地	時刻	交通機関	摘要	食
2020年 1月26日 (日)	成田空港着	17:00	各自	各自成田空港に集合。 ホテル内にて結団式及び説明会を実施。 【成田空港近辺泊】	夕
1月27日 (月)	東京(成田)発 マニラ着	09:30 13:40	PR-431 専用車	空路にてフィリピンのマニラへ。 入国手続き後、専用車にて市内へ。 ■マニラ市内公共施設視察 スペイン統治時代の面影を今に残す城砦都市跡をはじめ、イントラムロス、マニラ大聖堂、世界遺産サンオウガスチャン教会などを見学 夕刻、ホテルへ 【マニラ泊】	朝 機 夕
1月28日 (火)	マニラ発 (タガイタイ) マニラ着			■RCFCフルーツ農園訪問 さとうきび、ココナッツ、バナナ、ドリアン、ドラゴンフルーツ等の輸出用換金作物を栽培するフルーツ農園を訪問。 近年フィリピンでは、有望なアグリビジネスの対象としてバナナなどのフルーツ生産が注目されている。キャベンディッシュ種のバナナ生産の実績をみると、2017年は生産統計のある2010年に比して2.5倍になっています。 ■マニラ市内ファーマーズマーケット訪問 国内の食材が全国から揃う、市内最大の総合市場にて現地の食材、台所事情を調査、見学します。エビ、カニ、貝などの魚介類、食肉、新鮮な野菜など、地元民が利用する市場です。 【マニラ泊】	朝 昼 夕
1月29日 (水)	マニラ滞在			■水稻農家またはハイブリッド米販売会社訪問(予定) 今後の稲作農家の課題として地球温暖化によるイネの収量の低下、気候不順による干ばつ、洪水を引き起こし海面上昇による塩害などの影響が懸念されます。そんな中フィリピンでは近年国策として生産性と収穫量向上を狙いハイブリッド米の普及促進に力を入れています。 遺伝子技術を活用したイネの改良についてみていきます。 【マニラ泊】	朝 昼 夕
1月30日 (木)	マニラ発 バンコク着	09:35 12:10	PR-730 専用車	空路にてタイのバンコクへ 着後、専用車にて市内へ ■バンコク市内文化施設視察 華やかな大都会の賑わいと、厳かな仏教文化が息づき、古今の歴史と文化が見事に調和した都市バンコク市内を見学します。ワット・アルン(暁の寺)、ワット・ポー(涅槃仏寺院)、チャイナタウン、カオサン通りなど歴史的仏教寺院や屋台での食事や買い物など見所が尽きません。 【バンコク泊】	朝 昼 夕
1月31日 (金)	バンコク滞在			■水稻農家または日本米販売会社を訪問(予定) 熱帯気候を上手に活かし稲作を進めているタイは世界有数のコメ輸出国となっています。バンコク郊外の稲作農家を訪問して生産者よりお話を伺います。また、日本米を販売する農協を訪問、現地での日本米の流通や課題を見ていきます。 タイの農業及びコメ農家の現状と展望について見識を深めます。 ■バンコク郊外のスマート農業に取り組む農家(予定) タイの農家の主要モデルである小規模農家の将来的な収益継続や生産効率の向上のために国家プロジェクトとして農業へのICTの利用普及拡大がなされています。ICTを活用した農場管理の考え方と革新的なプロセスを現場にて視察します。 【バンコク泊】	朝 昼 夕
2月1日 (土)	バンコク滞在			■世界遺産アユタヤ遺跡群視察 バンコクから北へ約76キロ。チャオプラヤー川とその支流に囲まれた中州にあるアユタヤは、14世紀、この地に400年余りの栄華を誇ったアユタヤ王朝の首都でした。現在残る遺跡群は、アユタヤ歴史公園として整備され、1991年にはユネスコ文化遺産に登録されました。世界中からの観光客でにぎわうタイ随一の観光地です。 【機内泊】	朝 昼 夕
2月2日 (日)	バンコク発 マニラ着 マニラ発 東京(成田)着	01:30 05:45 07:05 12:15	PR-741 PR-736	空路、直行便にて成田へ。 帰国手続き後解散。	機

※旅程は2019年9月に作成されました。

※現地が旧正月の時期になるため、訪問先やスケジュールが変更になる場合がございます。

実施要項

ツアー名:第6回 東南アジア農業事情視察団

●旅行経費 ￥289,000.- (シングルルーム利用)
￥257,000.- (2名1室利用)

●募集人員 20名様以上 (定員25名)

※20名様未満の場合費用が変更になります。

●旅行費用に含まれるもの

- ①交通費: 往復航空運賃 (エコノミークラス)
- ②宿泊ホテル料金 (バス又はシャワー付き)
※成田宿泊代 (1月26日) も込み
- ③食事: 全食付き (機内食も含む)
- ④旅程に記載の移動に要するバス等の交通機関
- ⑤旅程に記載の視察に要する通訳及び手配費用
- ⑥空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金
(原則としてお一人様旅行用靴1個23kgまで)
- ⑦添乗員費用: 1名同行致します。

●旅行費用に含まれないもの

- ①燃油特別付加運賃及び空港税 (¥19,800)
※2019年10月時点での料金にてご算出しております。料金は2ヶ月に1度変動があります。最終的な料金は御請求書にてご連絡申し上げます。
- ②成田空港使用料及び旅客保安サービス料 (¥2,660)
- ③食事の際のお飲物代
- ④旅行傷害保険料(※必ずご加入願います)
- ⑤ビジネスクラス利用料金
※お申し込みを頂いた時点でのお席状況により料金は変動致します。
- ⑥個人に属する旅券印紙代及びこれに伴う諸費用
- ⑦日程記載以外の交通費、食事費用
- ⑧国際観光旅客税(¥1,000)

●パスポートについて

※パスポートは運転免許証と同様に個人の所屬となります。
※パスポートの有効期間は6ヶ月以上必要です。
※パスポートの有効期間が6ヶ月未満の場合、出国できません。
また、訪問国の入国を拒否されます。

●渡航手続き

有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請をお願いします。取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピーをベストワールド(株)にお送り願います。取得までに約1週間から10日間かかります。

1. 戸籍抄本 1通 (最近6ヶ月以内のもの)
2. 住民票 1通 (")
3. 写真 1枚 (縦4.5cm×横3.5cm)

※査証用の写真については別途ご案内致します。

●旅行申込み方法

参加申込書を郵送または FAX にて送付頂き、併せて申込金 (¥60,000) を下記指定口座までお振込み頂きます。(旅行費用の内金となります。)

●残金の支払い

出発1ヶ月前までにお振込み方お願い致します。

●申込締切 2019年12月12日(木)

●振込先

銀行名:三菱UFJ銀行 神田支店
名義:ベストワールド株式会社
口座:当座預金0451765

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。

- *30日前～3日前までの場合……………費用の20%
- *2日前～出発前日までの場合……………費用の50%
- *当日及び、出発後の取消の場合……………費用の100%

※航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、前払いする関係上、取り消しの際にその実費を頂きます。

●おことわり

旅行費用は2019年10月現在の特別航空運賃を基準にしております。出発前に大幅な為替変動などがあった場合には、旅行費用が変更となる場合がありますので、ご諒承願います。

●当社の免責事項について

*下記の項目は当社の責任を負いかねますのでご諒承下さい。

- ①天災事変、戦乱、暴動、ストライキまたはこれらの為に生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。例えば、台風によるフライトキャンセル等により旅行日程が短縮となった場合も、ご旅行代金の返金はございません。また、帰国予定便が延着になり、宿泊が追加となった時などの経費はお客様負担となりますので、予めご了承ください。
- ②運送・宿泊機関等のサービス提供の中止またはこれらの為に生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
- ③官公署の命令、外国の出入国規制または伝染病による隔離またはこれらによって生じる旅行日程の変更もしくは旅行の中止。
- ④病気⑤盗難⑥運送機関遅延、不通、スケジュール変更、経路変更またはこれらによって生じる旅行日程の変更もしくは目的地滞在時間の短縮。
- ⑦現金、貴重品、重要書類、撮影済みフィルム、その他壊れ物については、当社は賠償の責を負いません。
- ⑧運送機関での手荷物の滅失、紛失または破損に対する損害に関しては、国際運送約款及び各航空会社の航空約款に準じます。

◆お問い合わせ・お申込み 視察企画:

全国農業会議所
全国農業新聞

〒102-0084 東京都千代田区二番町9-8
中央労働基準協会ビル2階

TEL:(03)6910-1130 FAX:(03)-3261-5132

旅行手配・実施:

ベストワールド株式会社

(日本旅行業協会正会員・観光庁長官登録旅行業145号)
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4
TEL:(03)3295-4111 FAX:(03)3295-4118